

## 15. 「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動の推進

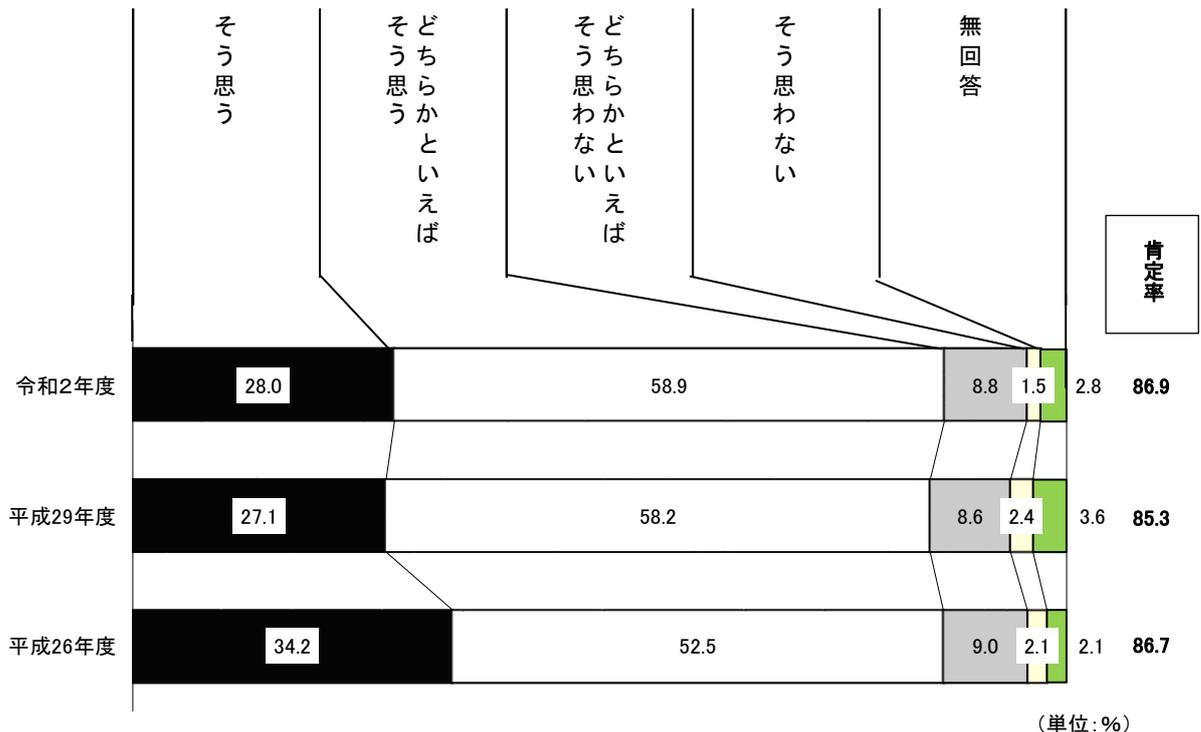
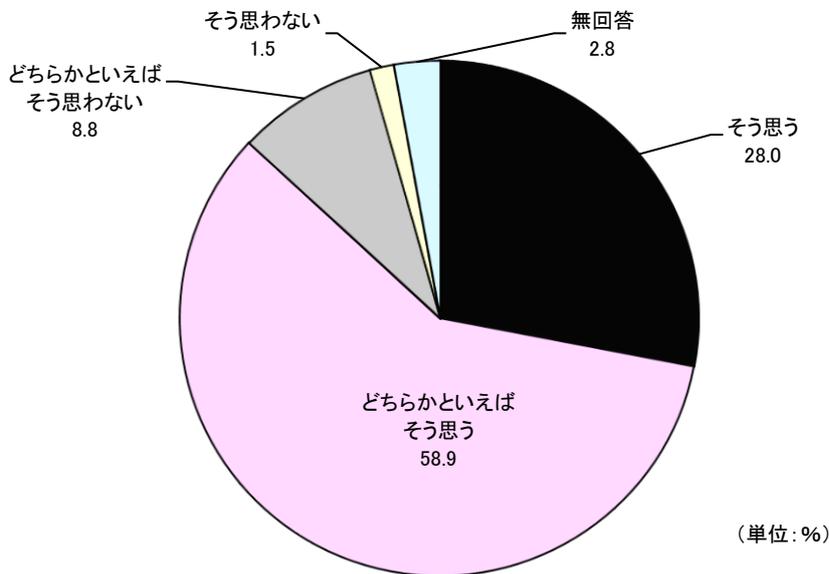
### (1) 居住地域の治安

問39 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。  
あてはまるものを1つだけ選んでください。

**治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思う人が8割を超える**

お住まいの地域について、「そう思う」と回答した割合は 28.0%、「どちらかといえばそう思う」(58.9%)をあわせた「肯定率」は 86.9%と、8割以上の人々が安全で安心して暮らせる地域だと考えている。

前回調査と比較すると、「肯定率」はほぼ横ばいである。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「肯定率」は備後地方生活圏が 87.0%と、広島地方生活圏(86.8%)、備北地方生活圏(85.9%)と比べてやや高い。

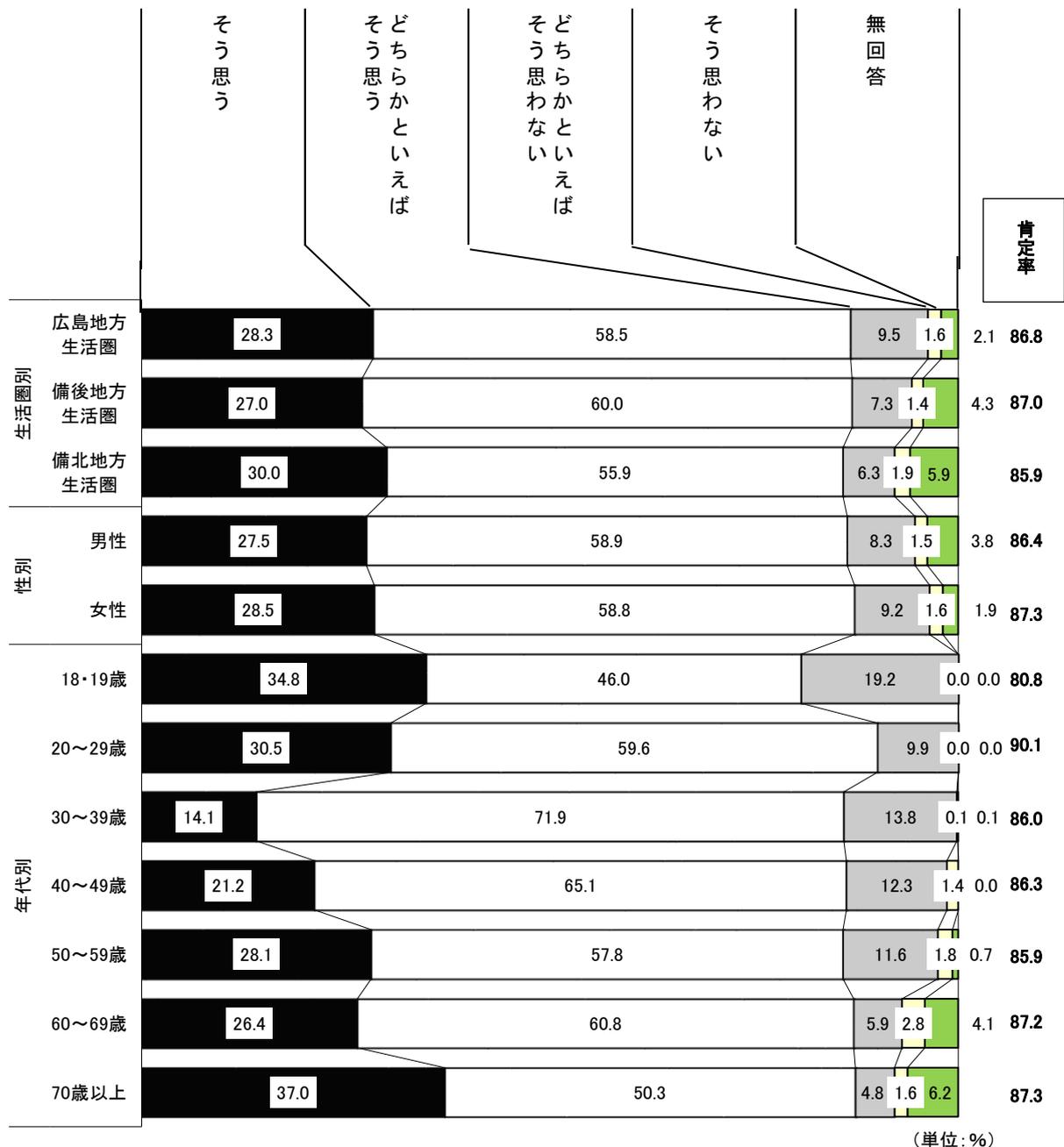
【性別】

「肯定率」は女性(87.3%)が男性(86.4%)と比べてやや高い。

【年代別】

「肯定率」は 20 歳代が9割を超えて高いが、18・19 歳は 80.8%と他の年代と比べて最も低い。

居住地域の治安(生活圏, 性, 年代別)

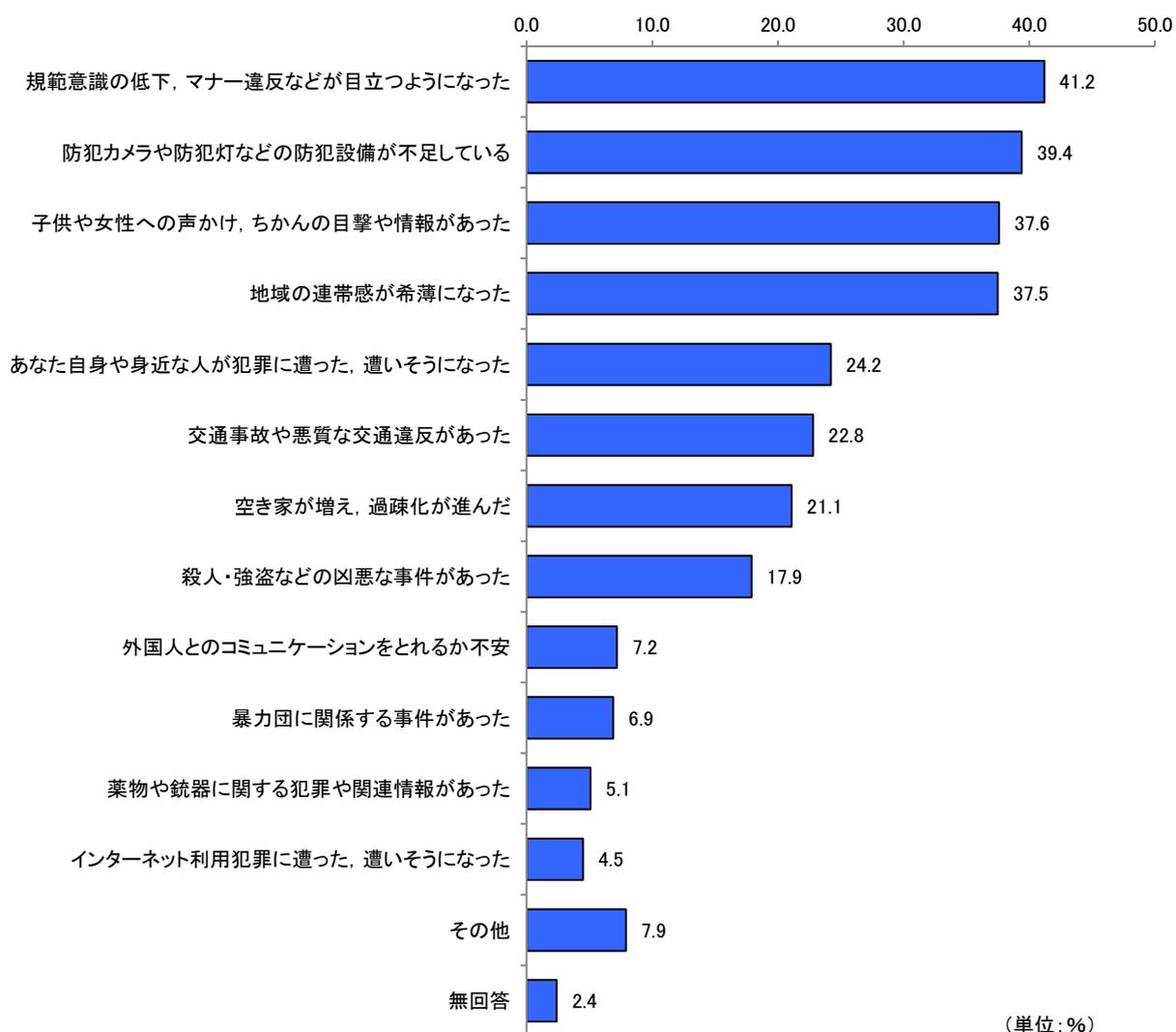


## (2) 治安良好と思わない理由

問40 問39で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を選ばれた方にお伺いします。あなたがお住まいの地域が治安良好と思わない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

**「規範意識の低下， マナー違反」「防犯設備の不足」  
「声かけ， ちかん」「地域の連帯感の希薄」が上位**

お住まいの地域が治安良好と思わない理由について、「規範意識の低下， マナー違反などが目立つようになった」が 41.2%と最も高くなっている。次いで「防犯カメラや防犯灯などの防犯設備が不足している」(39.4%)，「子供や女性への声かけ， ちかんの目撃や情報があった」(37.6%)，「地域の連帯感が希薄になった」(37.5%)となっている。



## ＜属性による比較＞

### 【生活圏別】

広島地方生活圏は「子供や女性への声かけ, ちかんの目撃や情報があった」(41.4%)「あなた自身や身近な人が犯罪に遭った, 遭いそうになった」(27.1%), 備後地方生活圏は「防犯カメラや防犯灯などの防犯設備が不足している」(53.1%)が他の生活圏と比べて 10 ポイント以上高い。備北地方生活圏は「空き家が増え, 過疎化が進んだ」(45.5%)が他の生活圏と比べて 20 ポイント以上高い。

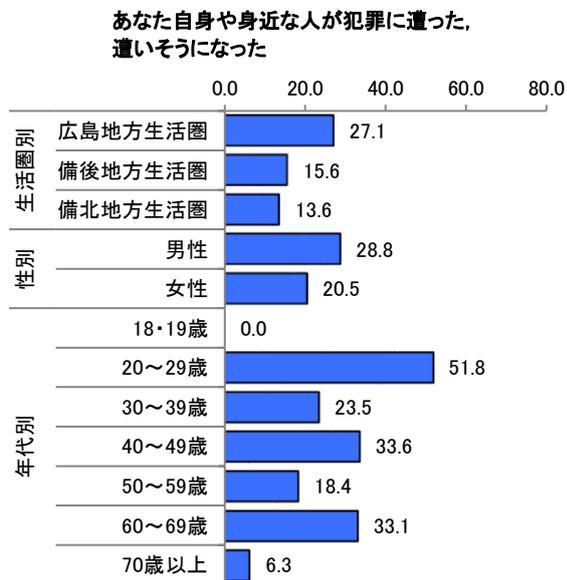
### 【性別】

男性は「地域の連帯感が希薄になった」(45.4%), 「交通事故や悪質な交通違反があった」(32.2%)が女性と比べて 10 ポイント以上高く, 「規範意識の低下, マナー違反などが目立つようになった」(56.3%)が女性(29.2%)と比べて 27.1 ポイント高い。女性は「空き家が増え, 過疎化が進んだ」(26.0%)が男性(14.9%)と比べて 11.1 ポイント高い。

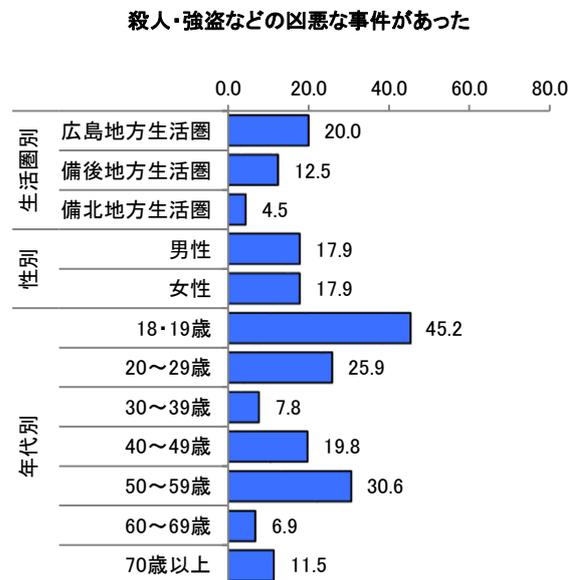
### 【年代別】

20 歳代は「あなた自身や身近な人が犯罪に遭った, 遭いそうになった」(51.8%), 50 歳代は「防犯カメラや防犯灯などの防犯設備が不足している」(60.0%), 70 歳以上は「地域の連帯感が希薄になった」(55.0%)が半数を超えて他の年代と比べて高い。「子供や女性への声かけ, ちかんの目撃や情報があった」は若年層になるほど割合が高い。

## 治安良好と思わない理由(生活圏, 性, 年代別)

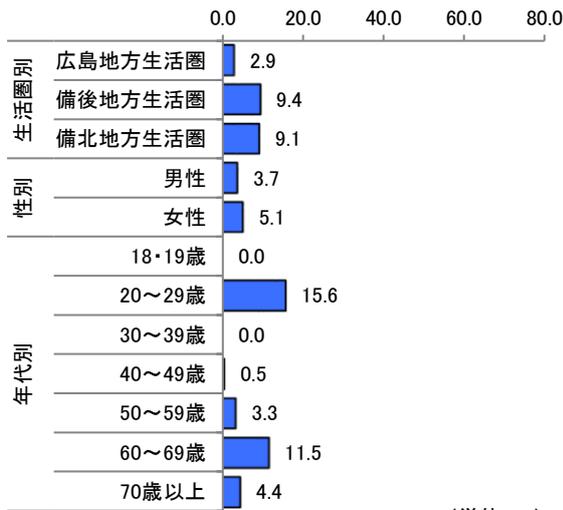


(単位: %)



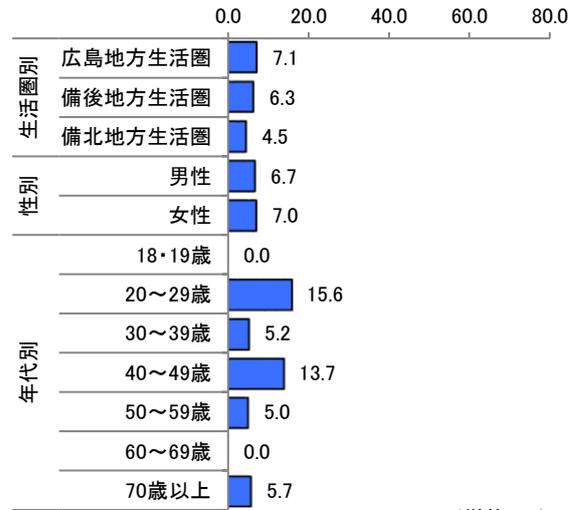
(単位: %)

インターネット利用犯罪に遭った、  
遭いそうになった



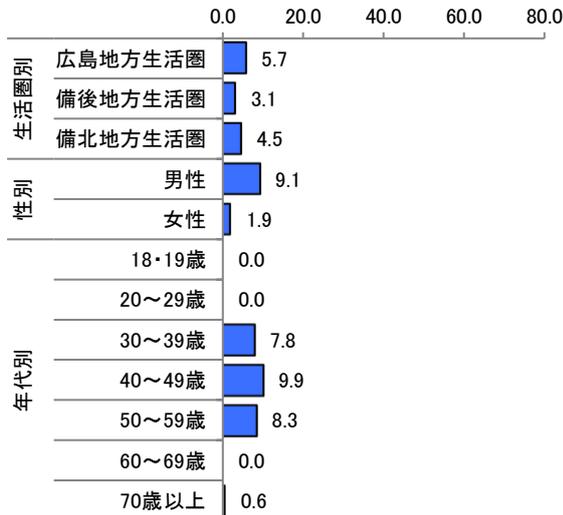
(単位: %)

暴力団に関する事件があった



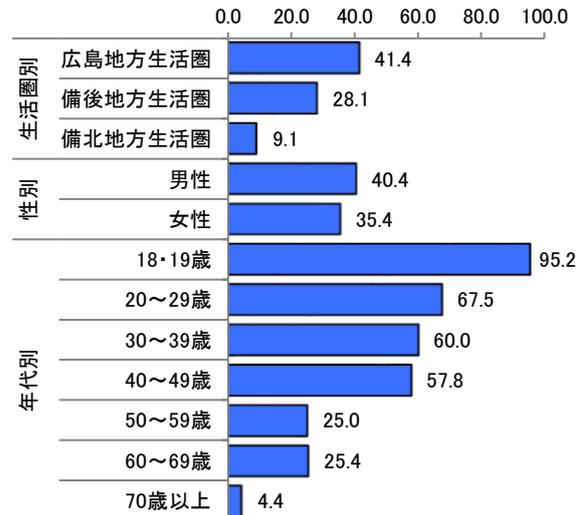
(単位: %)

薬物や銃器に関する犯罪や関連情報があった



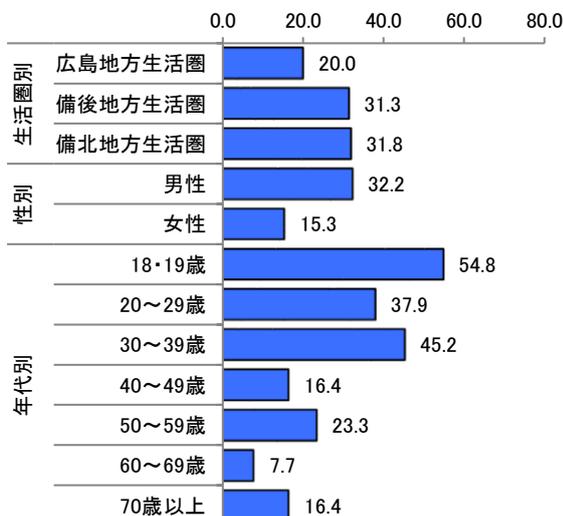
(単位: %)

子供や女性への声かけ、ちかんの目撃や情報があった



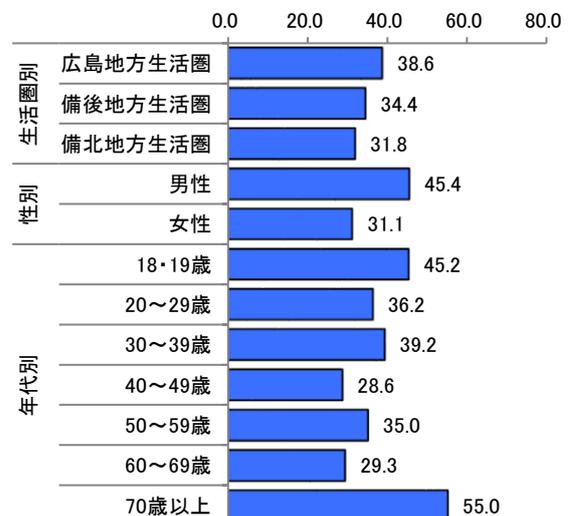
(単位: %)

交通事故や悪質な交通違反があった



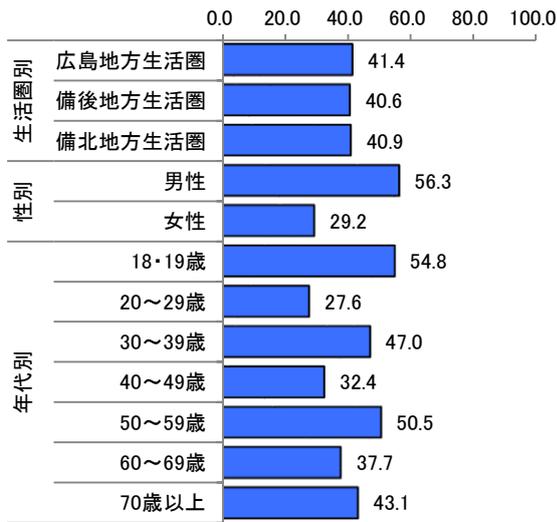
(単位: %)

地域の連帯感が希薄になった



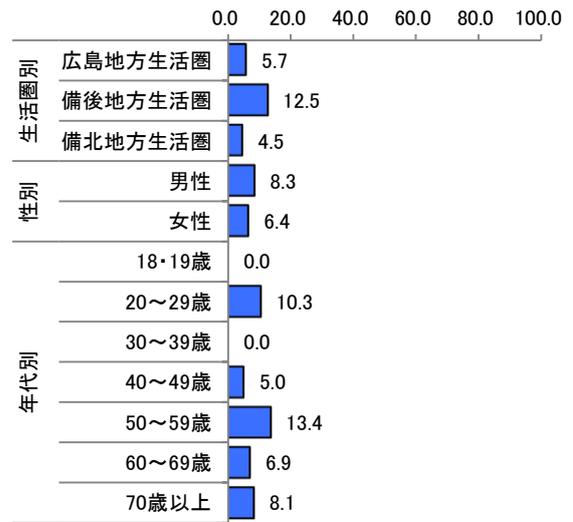
(単位: %)

規範意識の低下、マナー違反などが目立つようになった



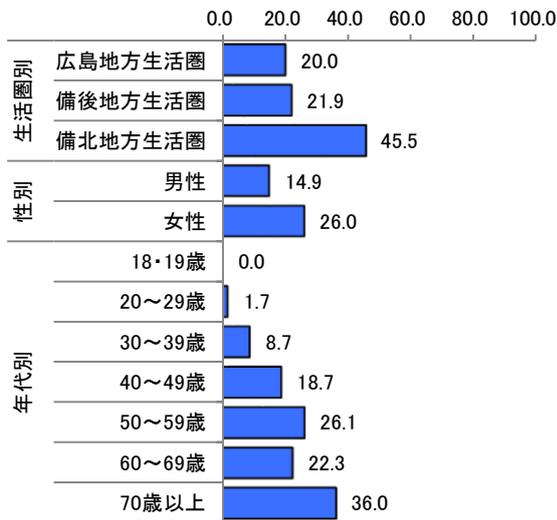
(単位: %)

外国人とのコミュニケーションをとれるか不安



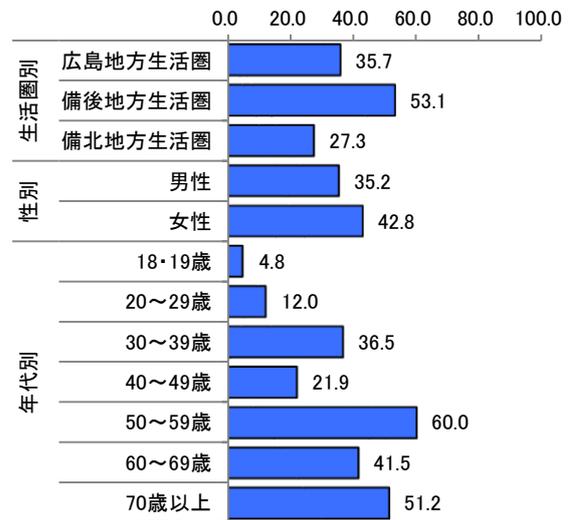
(単位: %)

空き家が増え、過疎化が進んだ



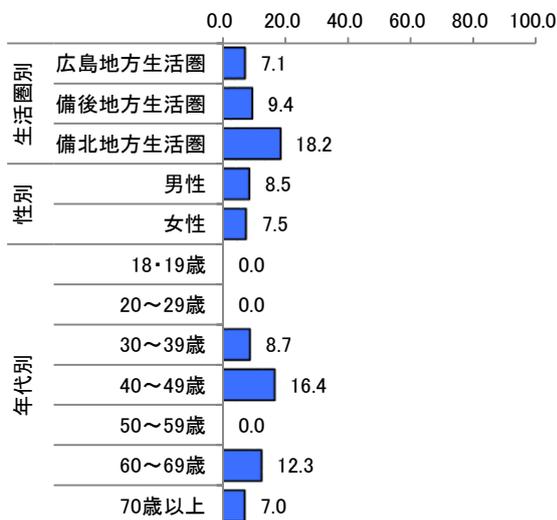
(単位: %)

防犯カメラや防犯灯などの防犯設備が不足している



(単位: %)

その他



(単位: %)

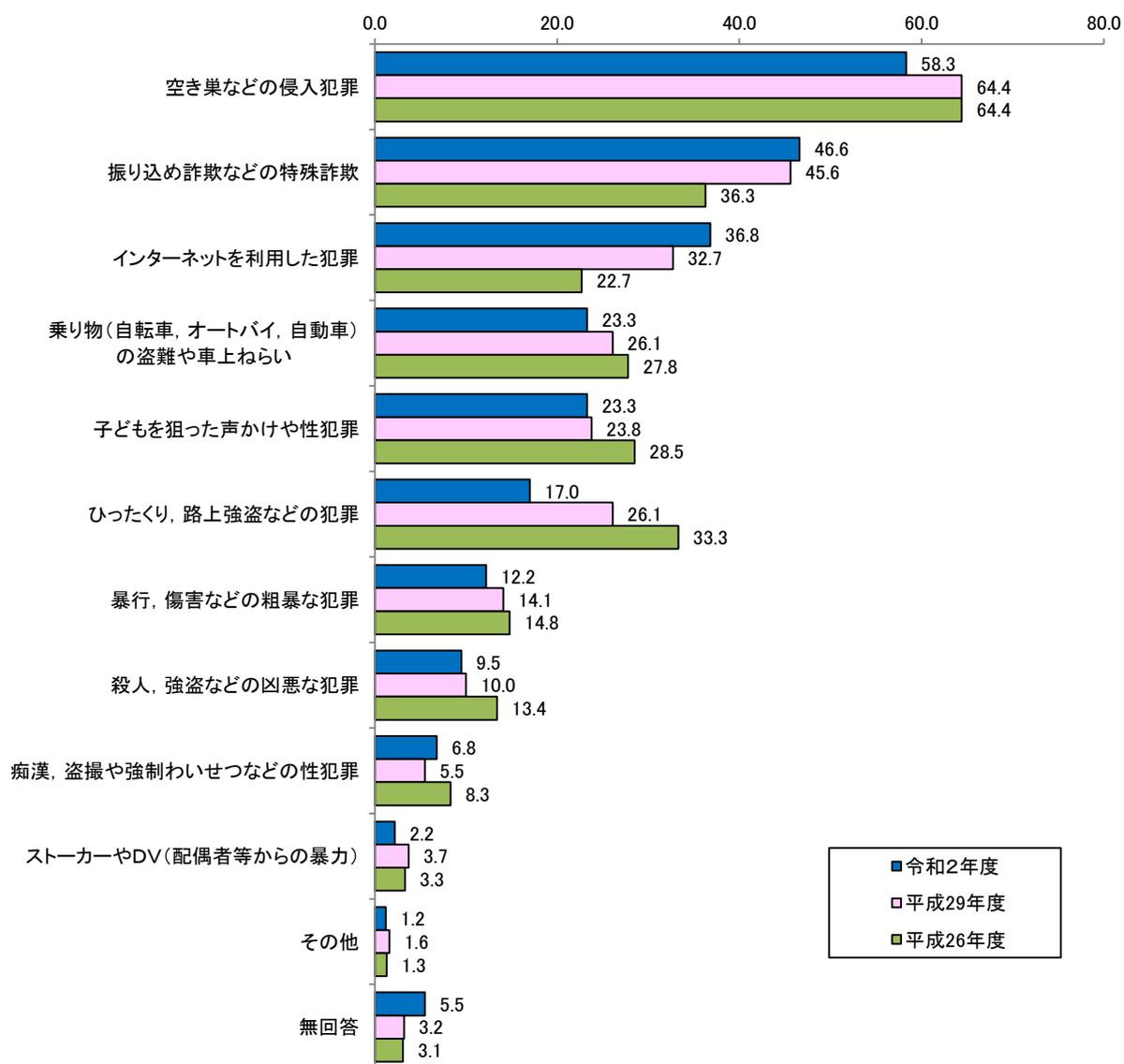
### (3) 日頃不安を感じている犯罪

問41 あなたが、日常生活において、自分自身や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安を感じている犯罪は何ですか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

**「空き巣などの侵入犯罪」が約6割。  
「特殊詐欺」「インターネット犯罪」への不安度が上昇している**

日頃不安を感じている犯罪について、「空き巣などの侵入犯罪」が58.3%と最も高くなっている。次いで「振り込め詐欺などの特殊詐欺」(46.6%)、「インターネットを利用した犯罪」(36.8%)となっている。

前回調査と比較して、順位には大きな変動はないが、不安度が上昇しているのは「インターネットを利用した犯罪」(4.1ポイント)、一方で3ポイント以上低下しているのは「ひったくり、路上強盗などの犯罪」(9.1ポイント)、「空き巣などの侵入犯罪」(6.1ポイント)である。



(単位:%)

## ＜属性による比較＞

### 【生活圏別】

備北地方生活圏は「振り込め詐欺などの特殊詐欺」(56.3%)が他の生活圏と比べて 9.3 ポイント以上高い。一方で、「ひったくり, 路上強盗などの犯罪」(5.6%)は全体の 17.0%に比べて 11.4 ポイント低い。

### 【性別】

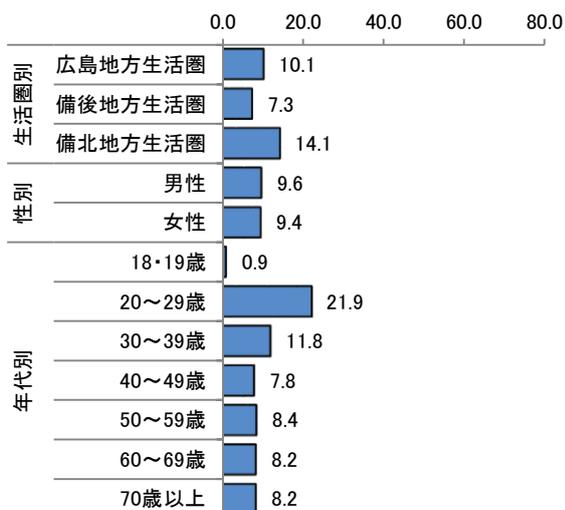
男性は「乗り物(自転車, オートバイ, 自動車)の盗難や車上ねらい」(28.4%)が女性(18.8%)と比べて 9.6 ポイント, 「暴行, 傷害などの粗暴な犯罪」(16.1%)は女性(8.8%)と比べて 7.3 ポイント高い。女性は「振り込め詐欺などの特殊詐欺」(49.1%)が男性(43.9%)と比べて 5.2 ポイント高い。

### 【年代別】

20 歳代は「インターネットを利用した犯罪」(55.1%), 「殺人, 強盗などの凶悪な犯罪」(21.9%)が他の年代と比べて高く, 30 歳代は「子どもを狙った声かけや性犯罪」(41.8%)が他の年代と比べて高い。60 歳代以上で「空き巣などの侵入犯罪」が6割を超え, 「振り込め詐欺などの特殊詐欺」は6割前後と他の年代と比べて高い。

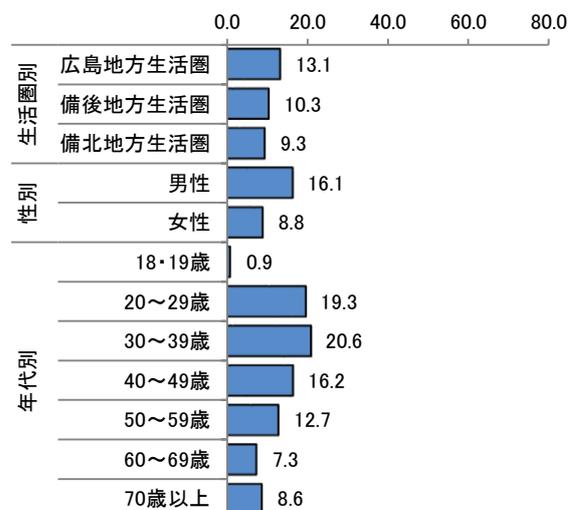
## 日頃不安を感じている犯罪(生活圏, 性, 年代別)

### 殺人, 強盗などの凶悪な犯罪



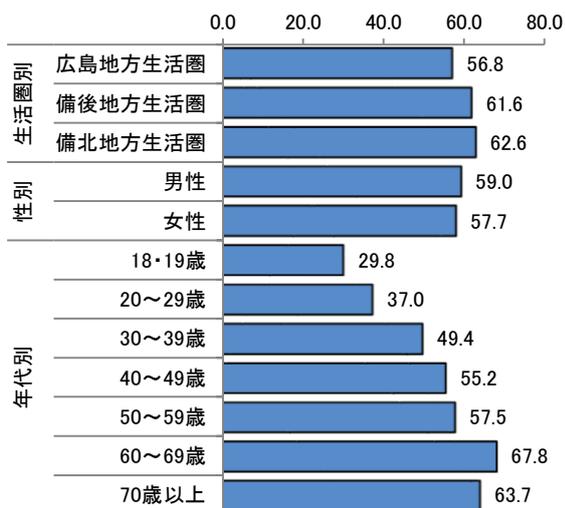
(単位: %)

### 暴行, 傷害などの粗暴な犯罪



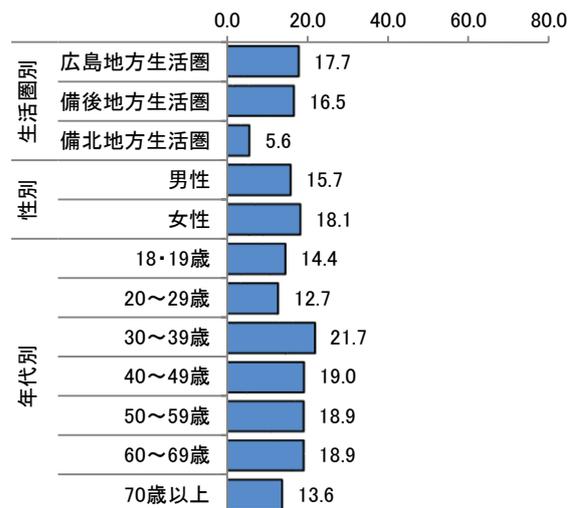
(単位: %)

### 空き巣などの侵入犯罪



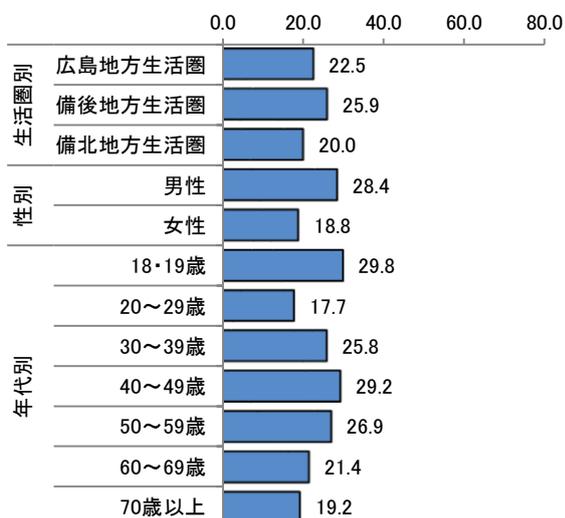
(単位: %)

### ひったくり, 路上強盗などの犯罪



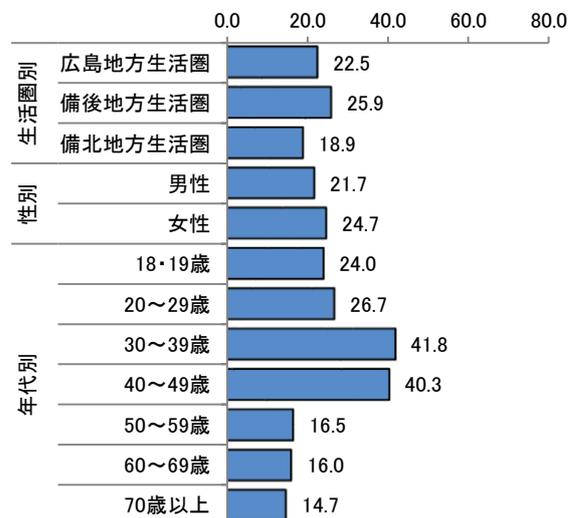
(単位: %)

### 乗り物(自転車, オートバイ, 自動車)の盗難や車上ねらい



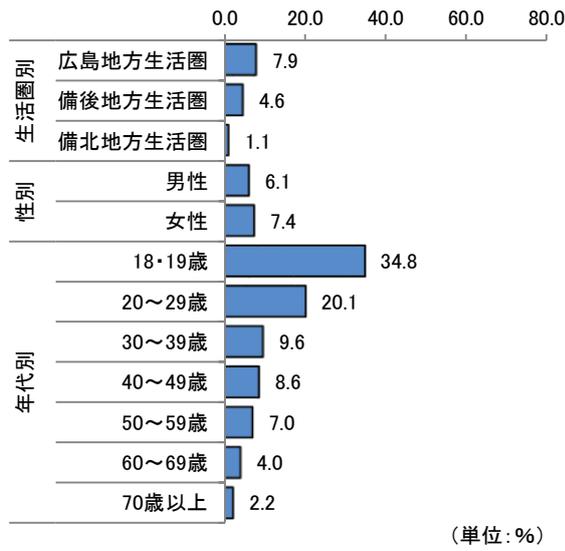
(単位: %)

### 子どもを狙った声かけや性犯罪

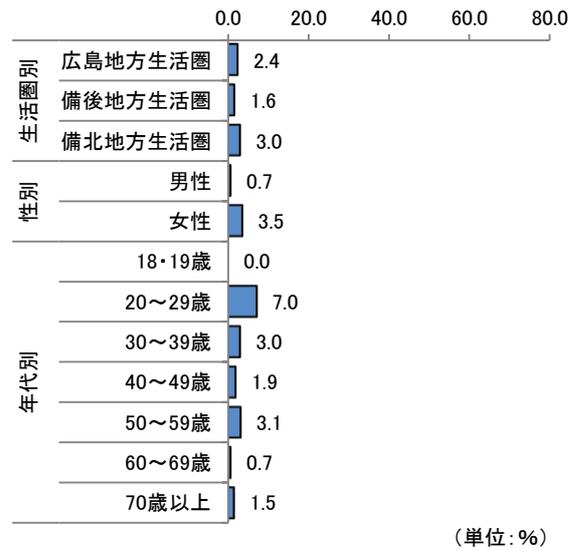


(単位: %)

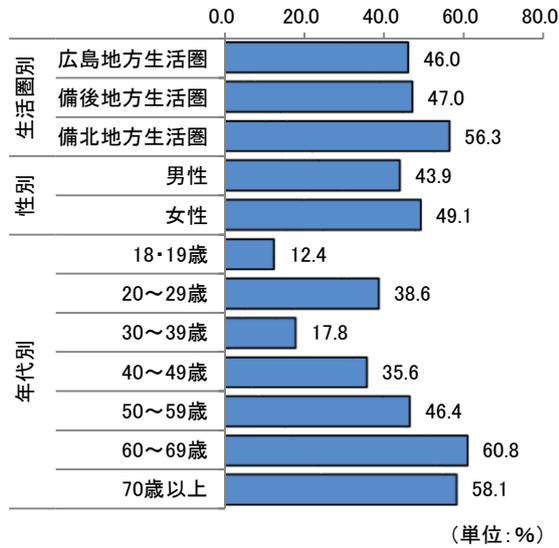
痴漢、盗撮や強制わいせつなどの性犯罪



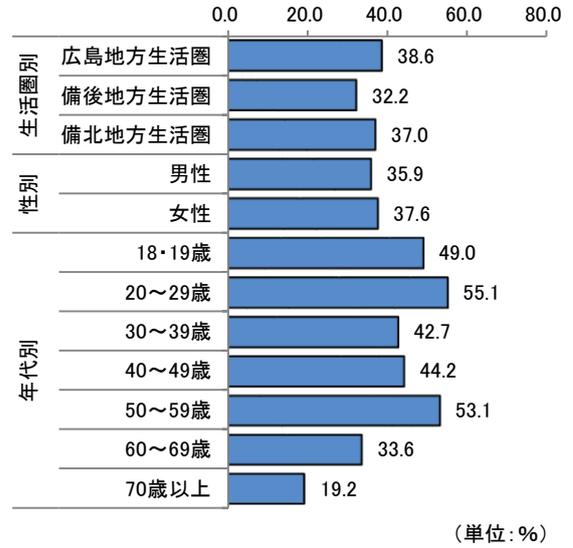
ストーカーやDV(配偶者等からの暴力)



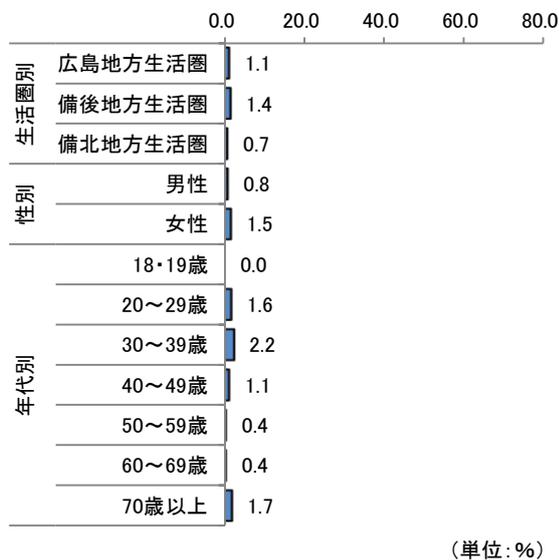
振り込め詐欺などの特殊詐欺



インターネットを利用した犯罪



その他



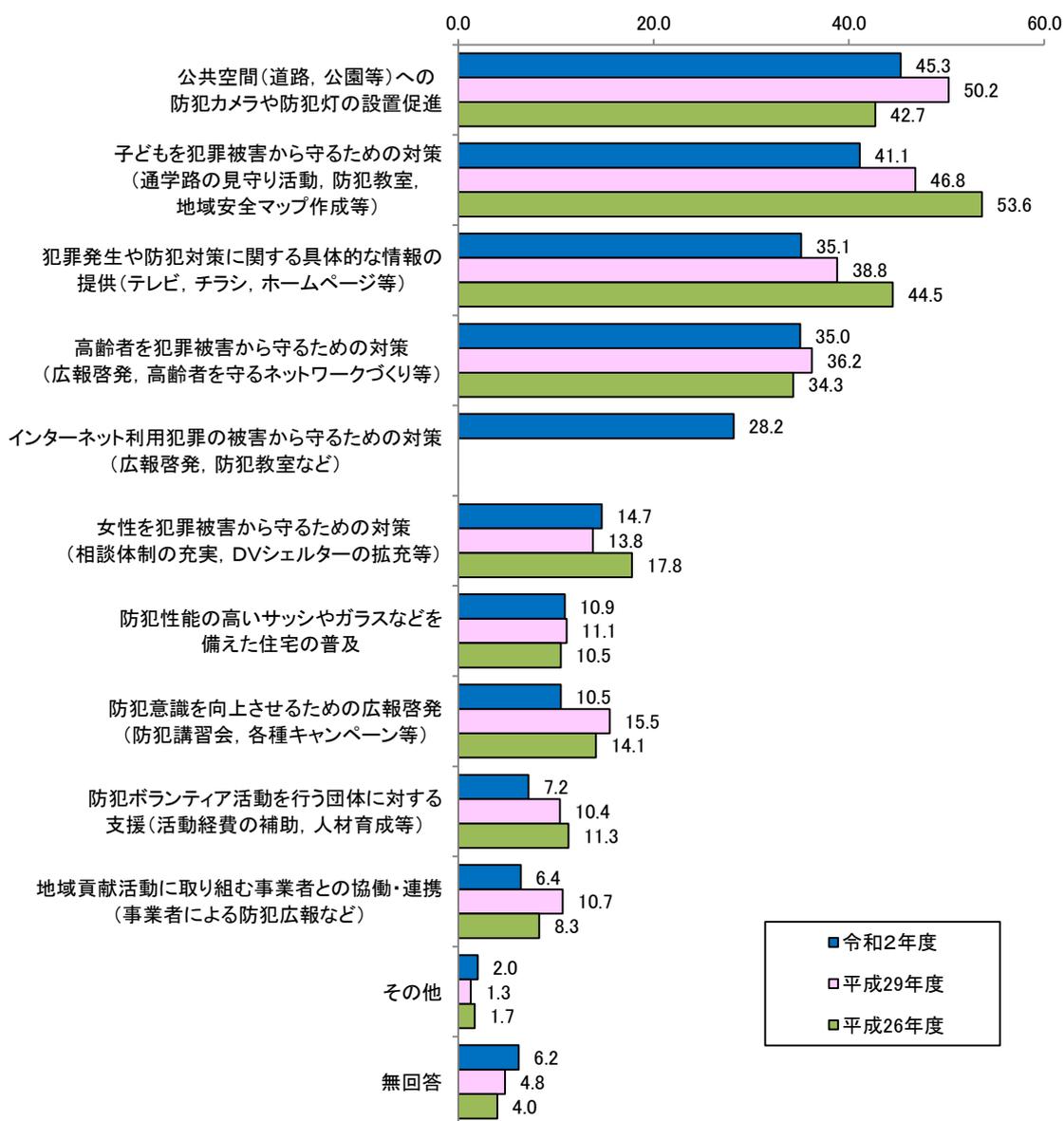
#### (4) 重点的に取り組んで欲しい防犯施策

問42 安全・安心な生活を送るために、犯罪の取締り以外にどの施策を重点的に取り組んで欲しいと思いますか。主なものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

**「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」  
「子どもを犯罪被害から守るための対策」が上位**

重点的に取り組んで欲しい防犯施策について、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」が45.3%と最も高くなっている。次いで「子どもを犯罪被害から守るための対策」(41.1%)、「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」(35.1%)、「高齢者を犯罪被害から守るための対策」(35.0%)となっている。

前回調査と比較すると、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」は4.9ポイント減少、「子どもを犯罪被害から守るための対策」は5.7ポイント減少、「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」は3.7ポイント減少している。



(単位:%)

## ＜属性による比較＞

### 【生活圏別】

広島地方生活圏は「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」(46.8%)「子どもを犯罪被害から守るための対策」(41.8%)が4割を超えて他の生活圏と比べて高い。備北地方生活圏は「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」(37.8%)、「高齢者を犯罪被害から守るための対策」(37.0%)が3割を超えて他の生活圏と比べて高い。

### 【性別】

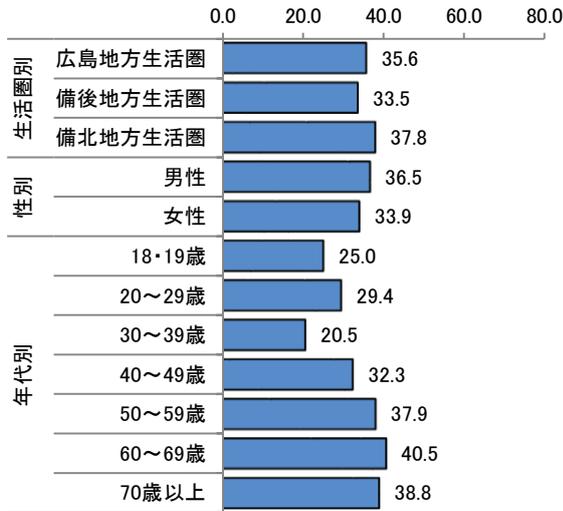
男性は「防犯意識を向上させるための広報啓発」(12.6%)が女性(8.7%)と比べて 3.9 ポイント、「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」(36.5%)が女性(33.9%)と比べて 2.6 ポイント高い。女性は「防犯性能の高いサッシやガラスなどを備えた住宅の普及」(12.4%)が男性(9.1%)と比べて 3.3 ポイント、「子どもを犯罪被害から守るための対策」(42.4%)が男性(39.7%)と比べて 2.7 ポイント、「女性を犯罪被害から守るための施策」(15.7%)が男性(13.6%)と比べて 2.1 ポイント高い。

### 【年代別】

20 歳代は「インターネット利用犯罪の被害から守るための対策」(41.8%)が他の年代と比べて高い。30 歳代は「子どもを犯罪被害から守るための対策」(61.0%)、「公共空間への防犯カメラや防犯灯の設置促進」(52.1%)、60 歳代は「犯罪発生や防犯対策に関する具体的な情報の提供」(40.5%)が他の年代と比べて最も高い。「高齢者を犯罪被害から守るための対策」は 60 歳代以上が他の年代と比べて高い。

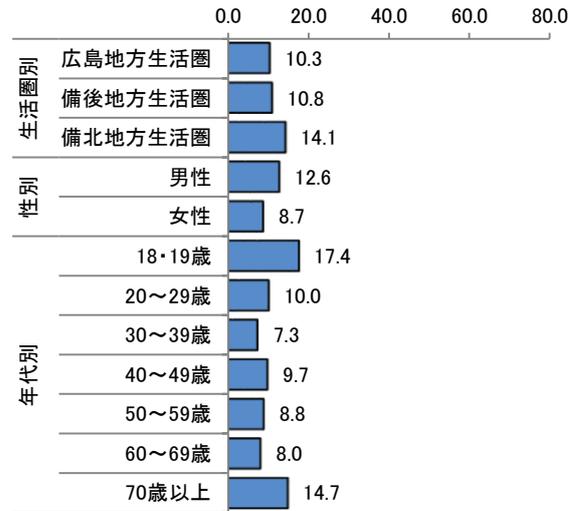
## 重点的に取り組んで欲しい防犯施策(生活圏, 性, 年代別)

犯罪発生や防犯対策に関する  
具体的な情報の提供



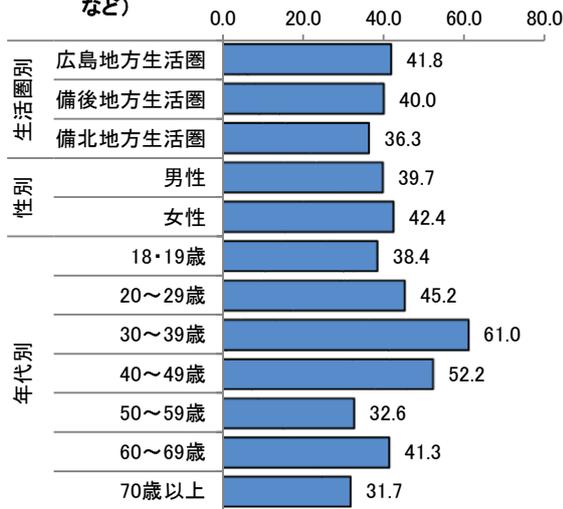
(単位: %)

防犯意識を向上させるための広報啓発  
(防犯講習会, 各種キャンペーンなど)



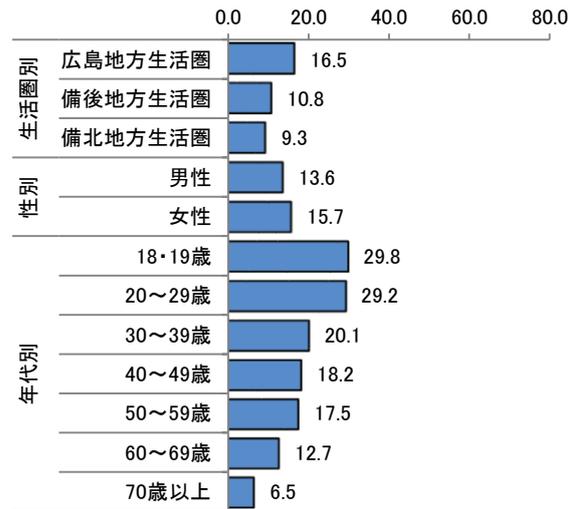
(単位: %)

子どもを犯罪被害から守るための対策(通学路  
の見守り活動, 防犯教室, 地域安全マップ作成  
など)



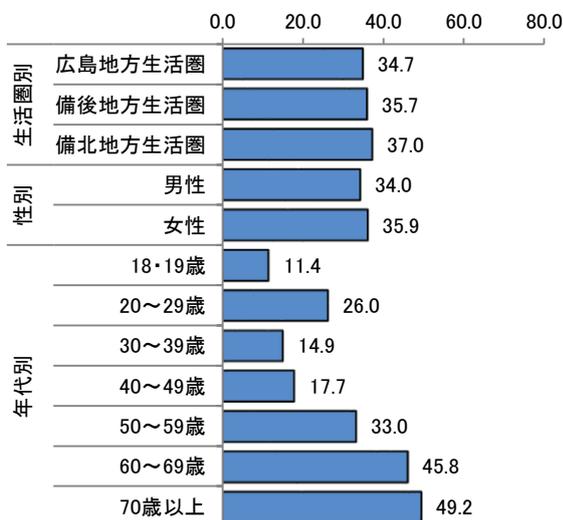
(単位: %)

女性を犯罪被害から守るための施策(相談体制  
の充実, DVシェルターの拡充など)



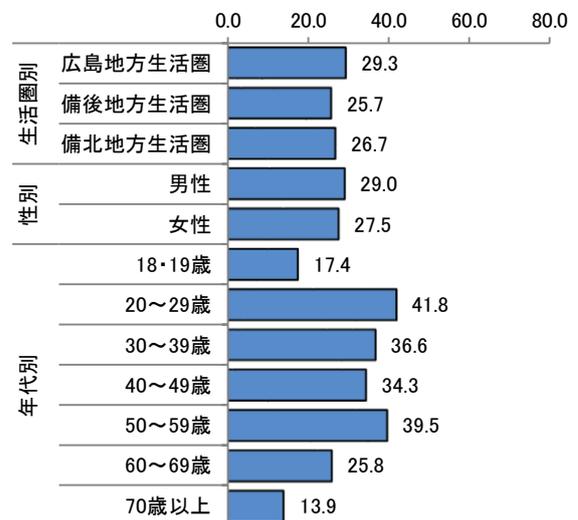
(単位: %)

高齢者を犯罪被害から守るための対策(広報啓  
発, 高齢者を守るネットワークづくりなど)



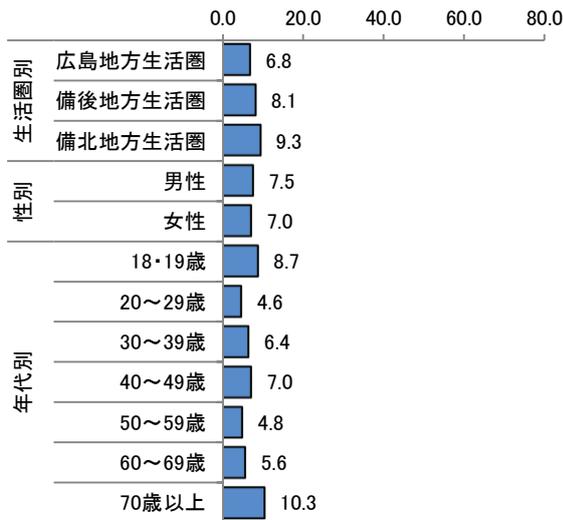
(単位: %)

インターネット利用犯罪の被害から守るための対  
策(広報啓発, 防犯教室など)



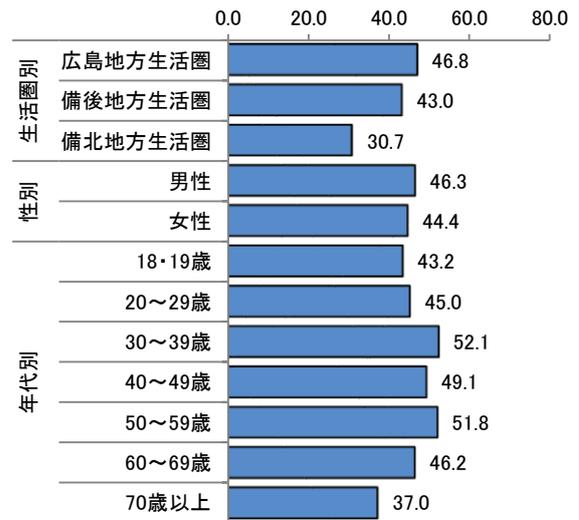
(単位: %)

防犯ボランティア活動を行う団体に対する支援  
(活動経費の補助, 人材育成など)



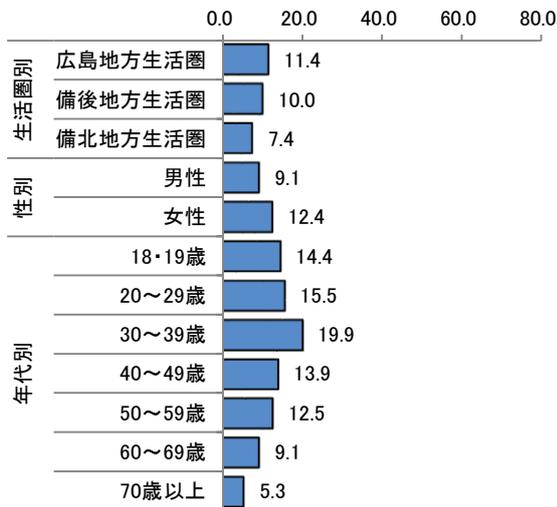
(単位: %)

公共空間(道路, 公園等)への防犯カメラや防犯灯の設置促進



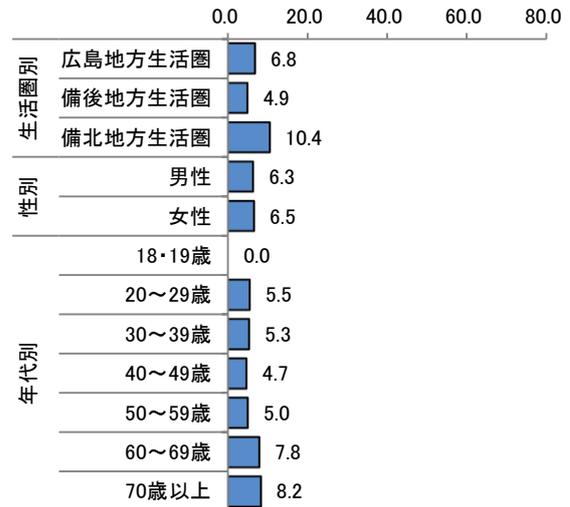
(単位: %)

防犯性能の高いサッシやガラスなどを備えた住宅の普及



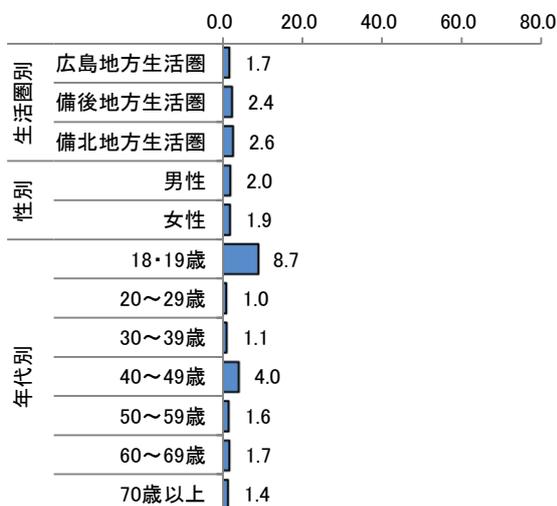
(単位: %)

地域貢献活動に取り組む事業者との協働・連携  
(事業者による防犯広報など)



(単位: %)

その他



(単位: %)